

フィットテストでN95マスク着用時の盲点を解消する 医療施設における感染管理の高まりと フィットテストインストラクターの活躍

2020年1月、日本で最初に新型コロナウイルスが確認されてからまもなく2年になろうとしています。デルタ株が猛威をふるった第5波は、新規陽性者数としては減少していますが、今も多くの医療従事者が、ご自身の感染リスクと隣り合わせの中、懸命に患者さんの治療やケアにあたられています。

医療施設における感染管理の高まり

従来、新型コロナウイルス感染症のような新興感染症の患者を受け入れる施設は、感染指定医療施設と呼ばれる医療施設でした。しかし、感染者数の増加による医療体制のひっ迫を改善するため、それまで感染症患者を受け入れていなかった施設が、感染管理体制を整備し、患者の受入れが行われるようになりました。

感染管理教育と 個人用防護具の着脱トレーニング

新型コロナウイルス感染症の「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)診療の手引き」によれば、患者の診療ケアにあたる場合でエアロゾルの発生しやすい場面で

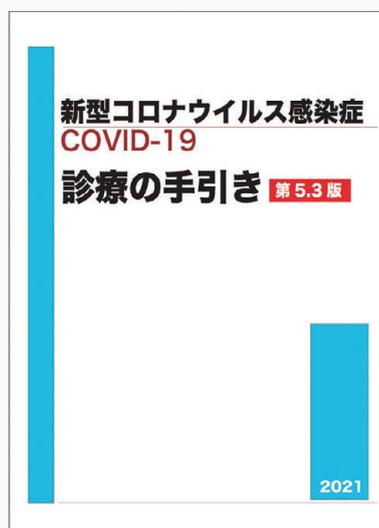
は、医療スタッフがN95マスク(写真)を使用することが推奨されています。そのため、初めてN95マスクを使う施設が増え、感染管理に関するスタッフへの教育や個人防護具の着脱トレーニングが行われることが多くなっているようです。

フィットテスト研究会について

N95マスクの着脱トレーニングの中心になるのが、顔にマスクがしっかりフィットしているかを確認するためのフィットテストです。

このフィットテストを広く浸透させることを目的に活動されているのが「フィットテスト研究会」です。同研究会には、医療分野において活動する感染部会と、産業分野において活動する産業部会があります。

次のページに、同研究会 和田先生からいただいたコメントとともに、感染部会の活動をホームページから抜粋して紹介いたします。



■ 手引きがダウンロードできます
<https://www.mhlw.go.jp/content/000829137.pdf>



N95マスクの一例
ハイラック350型(N95合格/DS2合格)



フィットテスト研究会/感染部会

フィットテスト研究会は、公衆衛生や感染を専門とする医師と看護師をはじめ、労働安全衛生の専門家、研究者によって2010年6月に発足しました。

マスクなどの呼吸用保護具(呼吸器防護具)は様々な呼吸器感染症や吸入性有害化学物質等への経気道ばく露リスクの低減に重要ですが、呼吸用保護具の効果や限界・使用法については感染管理や安全衛生の専門家でも十分な知識が浸透していません。また、N95レスピレーター* (国家検定の防じんマスクDS2規格相当)は、顔面への密着性を事前に評価するフィットテストが必要ですが、我が国では実施義務が規定されていないため、多くの事業場や病院で実施されていないのが現状です。

本研究会は、フィットテストインストラクター養成講座を企画運営し、呼吸用保護具の正しい使用方法を普及する人材育成の場を定期的に開催するとともに、呼吸器保護に関連した諸研究を行う専門家の意見交換のためのプラットフォームづくりを目的に設立されました。(フィットテスト研究会/感染部会HPより)

*N95レスピレーター・・・NIOSH(米国労働安全衛生研究所)はN95マスクの正式名称を、Particulate Respirator TypeN95としている



フィットテスト研究会/感染部会

代表 **和田耕治 先生**

こうした時代が来るということを想定してフィットテスト研究会はトレーニングを開始しました。

この1年半に亘り現場では様々な苦労がありました。

ワクチン接種も始まり今後少しこれまでとは違った状況にはなるとは思いますが、この冬をまずは乗り越えていくことが重要です。

研究会では、今後も発信を続けながら皆様とをつなぐ場も提供ができればと考えています。

医療従事者の感染を防止するために

N95マスクのフィルター性能は、米国NIOSHの検定試験に合格していれば、一定の性能基準を満足しています。しかしながら、実際にそのマスクが着用者の顔にフィットし、感染から身を守ることができるかどうかについては試験はされておられません。

米国では、フィットテストを定期的実施することを義務付け、管理運用面で安全面をカバーしています。

同じ様に、日本でも着用者が実際にマスクを装着してフィットテストを行い、自身がマスク装着時の安全性を確認する施設が増えていきます。

フィットテストインストラクター (FTI)とは

フィットテストインストラクターは、フィットテスト研究会が実施する教育プログラムを受講し、修了試験に合格された方に、フィットテスト研究会から授与される名称(称号)です。呼吸用保護具(呼吸器防護具)の正しい知識と使用法を普及することで

1. 働く人々が自分自身の健康を守ることの大切さを伝え、
2. 労働者を雇用する組織が働く人の健康を組織的に守るための仕組み作りを推進し、
3. 吸入性有害物質による様々な疾病の発生、特に、呼吸器を介する感染症の予防策の推進を職場で継続的に支援する技術を持つ者と定義されています。

フィットテストインストラクター養成講座

フィットテスト研究会が主催する、フィットテストインストラクターを養成する教育プログラムです。この講座を受講することで、所属する職場や医療機関などにおいて、他の職員をトレーニングする十分な知識と経験を得ることができます。

この講座の事務局の方からもお話を伺いましたので紹介いたします。

研究会事務局の方からのコメント

新型コロナウイルス(COVID-19)の発生で呼吸用防護具の使用頻度が増加しました。特にN95レスピレーターは他の個人防護具に比べ普通の在庫量が少なく、各施設で不足し、今まで使用したことのないN95レスピレーターを急遽購入したり、配給を受けたりする状況になりました。その状況では、全ての医療従事者が本当にフィットしたN95レスピレーター

を着用することができていたのか、不安になる場面があったと聞いています。

フィットテストインストラクター養成講座は、新型インフルエンザ A (H1N1) の発生時の「呼吸用防護具の選択や適正使用」についての議論から、フィットテスト研究会を立ち上げ、スタートしました。養成講座は現在、33回開催し、1000人以上のフィットテストインストラクターが全国で活動しています。

特に新型コロナウイルス(COVID-19)の感染対策ではフィットテストインストラクターが大活躍されています。

現在、緊急事態宣言等で養成講座を中断しておりますが、2022年春から感染対策を実施し、新たな内容で養成講座を再開します。

フィットテストインストラクターは新型インフルエンザ A (H1N1) や新型コロナウイルス(COVID-19)以外に今後、新たに呼吸器感染を起こす感染症に対して重要な役割を担える存在となります。養成講座の受講をお待ちしております。

The screenshot shows the website for the Fit Test Research Association, specifically the 'Fit Test Instructor Training Course' page. The header includes the association's name and a navigation menu with options like 'HOME', 'About the Association', 'Fit Test Instructor Training Course', 'Fit Test Equipment/Protective Equipment', and 'Activity Report'. The main content area features a large image of a classroom and the title 'Fit Test Instructor Training Course'. Below the title, it states the goal: 'Acquire specialized knowledge and skills in respiratory protective equipment to save lives from health crises.' A paragraph explains the association's mission to train instructors and promote infection prevention. At the bottom, there are five icons representing: 'Instructor Training Course', 'N95', 'Fit Test Equipment', 'Explanatory Video', and 'Protect Health During Volcanic Eruptions'.

■ フィットテストインストラクター養成講座のページ
<https://square.umin.ac.jp/fittest/report.html#ft>



研究会ホームページがリニューアルしました

同研究会のホームページでは、医療施設におけるフィットテストに使用する機器や防護具の紹介、その使用方法を説明する動画などコンテンツが揃っています。

す。これらの動画では、定性のフィットテストや定量のフィットテストの方法のほか、N95マスクの着脱方法などが解説つきで紹介されています。施設内の着脱トレーニングやフィットテスト、新入職員の教育や復習にも活用されることが期待されています。

フィットテスト研究会は、「フィットテストインストラクター養成講座」を通じてフィットテストインストラクターを養成し、働く人の健康を組織的に守る仕組みづくりと、呼吸器を介する感染症の予防策を推進しています。



インストラクター
養成講座



N95



フィットテスト
機器



解説ビデオ



火山噴火時に
健康を守る

解説ビデオ一例



解説ビデオでは和田先生の実演によって、N95マスクの着脱などが説明されています。

医療関係の方々、産業分野の方々の関心の高まりから、同研究会では2021年9月にホームページをリニューアルされました。

■ フィットテスト研究会感染部会トップページ <https://square.umin.ac.jp/fittest/index.html>



フィットテストインストラクター 養成講座テキストが改訂されました

■ 養成講座テキストダウンロードページ
<https://square.umin.ac.jp/fittest/index.html>



目次

フィットテストインストラクター (感染症) 養成講座のシラバス

第1章 呼吸器感染する感染症と感染経路

1. 呼吸器感染成立の3つの要件とその対策
2. 医療従事者が呼吸器感染する感染症と感染経路

第2章 呼吸用防護具の種類と規格

1. 産業保健からみた感染対策
2. 呼吸用防護具の種類と正しい使用法
 - もっと知りたい1 マスクのJIS規格
 - もっと知りたい2 N95 レスピレーターと防じんマスク DS2 の意味
 - もっと知りたい3 感染対策としての電動ファン付き呼吸用保護具 (PAPR) の可能性

第3章 N95 レスピレーターの正しい使用法とフィットテスト

1. N95 レスピレーター・防じんマスク DS2 の正しい使用法とユーザーシールチェック
2. レスピレーターの外し方と廃棄物処理
3. 定量的フィットテストをやってみる
4. 定性的フィットテストをやってみる
 - もっと知りたい4 防護具の購入、使用、廃棄にあたっての注意点
 - もっと知りたい5 さらに求められる呼吸用防護具の開発

フィットテストの実施について相談できる企業